

彩雲

あ や ぐ も

AYAGUMO

2017

vol. 117

発行日 2月20日

Contents

巻頭言	1
卒業生へのメッセージ	2
11月～1月の行事	3～5
響きあうまちと学校	6
東北ボランティア	7～8
クラブ活動報告	9～10
TOPICS	11

ANJO GAKUEN



学校法人安城学園 安城学園高等学校

〒446-8635 安城市小堤町4-25 TEL.0566-76-5105(代) <http://www.angaku.jp/>

poem

巻 頭 詩

生きる

谷川 俊太郎

生きているということ
 いま生きているということ
 それはのどがかわくということ
 木もれ陽がまぶしいということ
 ふっと或るメロディを思い出すということ
 くしゃみをする事 あなたと手をつなぐこと

生きているということ
 いま生きているとということ
 それはミニスカート
 それはプラネタリウム
 それはヨハン・シュトラウス
 それはピカソ
 それはアルプス
 すべての美しいものに会うということ
 そして かくされた悪を注意深くこばむこと

生きているということ
 いま生きているということ
 泣けるということ
 笑えるということ
 怒れるということ
 自由ということ

生きているということ
 いま生きているということ
 いま遠くで犬が吠えるということ

いま地球が廻っているということ
 いまどこかで産声があがるということ
 いまどこかで兵士が傷つくということ
 いまぶらんこがゆれているということ
 いま いまが過ぎてゆくこと

principal
speech

巻 頭 言

一日が小さな一生

心療内科医の海原純子さんが、20年以上アマゾンの熱帯雨林の存続を支援している人から聞いた話が新聞に紹介されていました。アマゾンの奥地に住む先住民族の人たちは日々、生と死と向き合っている、川にはピラニアがいるし、毒へびもいる。ちょっと気をゆるめたら命を失ってしまう。だから先住民族の人たちにとっては「一日が小さな一生」だという話です。事情は違いますがシリアやアフガニスタンやアフリカの国々など今も戦乱や紛争のなかにある国々の人々も「一日が小さな一生」のなかにあります。

「一日が小さな一生」そう考えるだけでとても大切な一日という気持ちになります。一日一日をどう生きるか真剣に考えたい、今日やることはできるだけ今日やりたい、そんな気持ちになります。翌日にまた新しい一日が始まれば感謝したい気持ちになります。新しい一日を“生きていることは素晴らしい”“生きていることは楽しい”そんな一日にしたいと思います。一日一日の送り方が周りの人たち、世界の人たちの幸せに繋がっていくような生き方をしたいと思います。世界中の人が安心して暮らせる世界をつくる、それが私たちの使命です。みんなの事を思い、思いやり、悲しんでいる人や苦しんでいる人に思いを馳せる、そんな毎日を送っていききたいと思います。そのために今以上に本をもっと読み、もっと友達と語り、もっと世界を拡張、もっと多くの人と手をつなぎ、一日一日を大切に生きたいと思います。



安城学園高等学校
校長 坂田 成夫

卒業生へのメッセージ



3年学年主任
木全 孝次

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

卒業式の日、あなたたちは入学式と同じ場所に立っています。その時、この3年間でどのように思い返しているのでしょうか。

3年前入学してきたあなたたちに、新しい環境の中で様々な挑戦をして成長してほしいと考え、「一步踏み出す」を一年次の学年目標としました。4月のフレッシュマンキャンプで3年生の先輩は、高校生活での挑戦が挫折も含めて自らを大きく成長させたことを語ってくれました。あなたたちは、部活動への参加、早朝補習への参加、学園祭実行委員への登録をはじめ、様々な自主的な活動に多くの人が挑戦していきました。その後も生徒会役員の立候補、安城七夕、創作ミュージカル、セミナーへの参加など積極的に多くのことに挑戦していきました。挑戦から得られるものは、「学び」です。「学び」は決して教室の授業の中だけではなく、地域や様々な現地（ステージ）でも得られるものです。しかし、挑戦する姿勢がなければ、授業の中でも「学び」は得られません。これが安城学園高校の「学び」のスタイルです。3年生になった時、様々な挑

戦をして成長したあなたたちの代表が、1年生のフレッシュマンキャンプで、挑戦することの大切さを語ってくれました。このキャンプ以外でも後輩への語りの中で伝統は受け継がれていています。

さらにあなたたちは、これまでの先輩たちとは違って歴史的な高校生となりました。昨年6月の「18歳選挙権施行」（70年ぶりの歴史的改正）です。この学年としても、安城市選挙管理委員会の協力も得ながら、2年生の終わりに「リアル模擬選挙」、3年生の6月には「18歳選挙権キャンペーン」を企画し、これまではない「主権者教育」に取り組みました。「良識ある公民として」この社会を支え、そしてよりよい社会を作る「有権者」となるために、社会について学び社会に対して自らの意見を表明（有権者の権利を行使）できる生徒になってほしいとの思いからでした。7月の参議院議員選挙では、本校の有権者の74%（18歳全体の投票率約51%）が投票に出かけました。そしてこの取り組みを通じて、私たち教員も改めて主権者としての在り方（「学び」の大切さ）を考えさせられました。

私たち教員も挑戦を続け、学び、あなたたちとともに社会を支え、社会がより良いものになるように努力していきます。あなたたちも挑戦を続け、人間としてより一層大きく成長してください。「誰でも無限の可能性を持っている」という言葉を信じて。



第17回2年生弁論大会～スピーチ2016～

2016年12月12日(月) 安城学園高校体育館

各クラスから1人ずつ代表が選出され15人の弁士が弁論を発表しました。

弁論大会宣言

自分のことを分かってほしいという気持ちは誰にもあるものです。そのとき、私たちはどのような方法でわかってもらうのでしょうか。行動で?表情で?もっとも大切なのは「言葉」です。人間の人間らしい意志の伝え方は言葉によるものです。その場合の言葉は、自分の気持ちを正しく伝えるもので、相手に誤解や曲解を与えるものであってはいけません。みなさん、自分の言葉を磨いて、正しく相手の心に発信する力をつけてゆきましょう。と同時に、発信された言葉を深く受けとめる力をつけてゆきましょう。この「弁論大会スピーチ2016」をきっかけにして。



最優秀賞 演題「苦しみのその先」

普通科2年3組 神谷 千尋(依佐美中学校出身)

優秀賞 演題「私を変えてくれた人 変えてくれた場所」

商業科2年3組 渡橋 藍(竜北中学校出身)

優秀賞 演題「個性があるという事」

普通科2年7組 粕谷しおり(一色中学校出身)

特別賞 演題「私のいとこ」

普通科2年6組 小林 玉季(安城北中学校出身)

代表生徒

商業科 1組	日比野 悠	竜北中学校出身	「伝えられなかったこと」
商業科 2組	稲垣 朝海	依佐美中学校出身	「今を生きること」
普通科 11組	森 那月	竜海中学校出身	「自信を持つこと」
普通科 2組	津曲 翔太	刈谷東中学校出身	「流れ星が消える前に」
普通科 5組	久野美沙希	大府南中学校出身	「今ある幸せ」
普通科 8組	菰田梨香子	大府北中学校出身	「胸を張って」
普通科 9組	渡邊 岳	大府北中学校出身	「吃音をもって」
普通科 12組	野々山ひかる	富士松中学校出身	「ごめんなさい」と「ありがとう」
普通科 1組	杉浦 莉奈	西端中学校出身	「小さな夢」
普通科 10組	下地 麻友	伊勢厚生中学校出身	「83歳のベイビー」
普通科 4組	成瀬 未来	東浦中学校出身	「ワタシの居場所」

「弁論大会最優秀賞を受賞して」

普通科2年3組

神谷 千尋

依佐美中学校出身



私は弁論を通じて、言葉で伝えることの難しさを学びました。話す内容は決まっても、文章構成や表現の工夫ができず、自分の納得のいく原稿を書くことに苦労しました。国語科の先生のアドバイスを頂きながら、何度も原稿を修正し、完成した時はとても嬉しかったです。弁論当日、私が緊張していると、「ちー、頑張れ。」と声をかけてくれるクラスメイトや友人、弁論終了後には多くの方々に「おつかれさま。」「すごかったよ。感動した。」と声をかけていただき、この弁論ができてよかったと心から思うことができました。クラスの子をはじめとする多くの人の支えがあり、素晴らしい弁論になったと思います。クラスの子や先生方に本当に感謝しています。

普通科2年12組

出口 友紀子

篠田中学校出身

言葉ってこんなにもすごいんだってあらためて思いました。それぞれの思いや願い、経験があって、それぞれの人生があって、とても感動しました。私はクラス発表の時も大会の時も、自分の今までの人生を思い返していました。発表している人の体験や思いを聞いて共感することも多くありました。最初めんどくさいなって思っていた弁論でしたが、終わってみると本当にやってよかったなと思っています。辛いときや悲しいときがあったら、今回の弁論を思い出して負けずにがんばっていきたくと思いました。

商業2年2組

金子 真己

安城南中学校出身

みんな出会いがあったり、別れがあったり、幸せがあったり、後悔があったり、いろいろな体験をしていてうらやましいと思ったり、かわいそうだったと思ったりしたけど、皆が「これから」「そのおかげで今の自分は」と、過去に固執するのではなく、前へ前へと進もうとしていて、その姿勢にすごく圧倒されました。小さい出来事でも、大きい出来事でも関係なく、自分が得た経験をどう生かすのが大事なんだと、この弁論の授業を通して学ぶことができました。

弁論の授業を通して、
クラスでの発表や自分の発表も含めての感想

商業2年3組

小寺 帆乃香

刈谷南中学校出身

たくさんの人がいろいろな経験をして生活していて、自分が今まで大変だと思っていたことも、そうでもないんだと思ってきました。私は大変なことがあると逃げていたけど、これからは逃げずにそれに立ち向かって、たくさん悩んで大変な思いを経験して、いい人間になりたいと思いました。

普通科2年8組

椿原 礼菜

岡崎北中学校出身

今回、弁論の授業を通して、それぞれいろんな思いを抱えて家のことや人間関係、障害や病気のこと、たくさん乗り越えてきているんだと思いました。そして、そういう壁を乗り越えた人はすごく強いし、かっこいいと思いました。クラスを代表して発表していた子はみんなハキハキとして堂々としてかっこよかったし、普段、人前で話さない子もすごい勇気を持って発表したんだと思いました。

普通科2年1組

谷上 由衣

藤岡中学校出身

みんなそれぞれに抱える思いがあって、いろいろな過去があって生きているんだなと思いました。英語コースで2年目の仲になっているけれど、今回の弁論で新しい発見がたくさんありました。英語コースだからこそ、海外から日本へ来た子、日本から海外へ行って生活していた子たちの、たくさんの経験を聞いて、たくさんの感情が生まれました。「みんなそれぞれ」ということが弁論を通して学んだことです。それぞれ必死に毎日生きているから、誰かを支えられる人になりたいです。

普通科2年9組

溝部 嘉子

若園中学校出身

みんなそれぞれ悩みはあって、それに向かって真正面から立ち向かっていく姿はとてもかっこいいなと思いました。自分は正直、父から逃げて挑戦することをやめてしまったことも多々ありました。それがその時一番だと思っていたからです。でも弁論を書いて、あらためて立ち向かうこと、逃げない強さがどれだけ大切なものかよく知ることができました。私はこれからの人生の中でもたくさん逃げたいと思うことがあると思います。そんな時でも絶対に逃げないように生きていきたいし、絶対逃げたくないと思うようになりました。弁論をして本当によかったと思いました。

球技大会

2016年12月16日(金) 安城学園高校体育館

「球技大会 男子優勝して」

普通科3年10組

石田 凱大

刈谷南中学校出身

僕たち3年10組男子は目標だった球技大会優勝をすることができました。今年はいつもに比べて、1・2年生が強く苦戦する場面もありました。しかしクラスのみんなの応援や他のクラスからの応援もあり、苦しい場面でも暗くならず、試合をすすめることができました。3年10組男子は3年8組男子と、決勝で闘おうと約束をしていました。決勝の舞台でずっと一緒に練習してきた8組と闘うことができ、約束を果たせたのでいい思い出になりました。今年で退職される酒井先生に優勝をプレゼントできてよかったです。優勝することができたのは、周りの人の応援や練習に付き合ってくれた人たちの存在が大きいです。この球技大会はきっと一生の思い出になると思います。限られた時間のなかでよりよい思い出をつくり、大人になってからも楽しかったと思える高校生活にできれば良いなと思います。



「球技大会 女子優勝して」

普通科3年12組

金井 愛華

青山中学校出身

私たち3年12組はとても明るく元気なクラスです。高校生活最後の球技大会は男女ともに早くから自分たちでメンバーとポジションを決めて、作戦も練りながら練習し、本番に挑みました。男子は残念ながら優勝クラスと初日に対戦となり、惜敗しました。しかし女子は、男子の分まで頑張ろうと勝負の気運を盛り上げることができました。対戦が進むにつれ選手どうしの声がよく出るようになり、ボールもよく繋がるようになりました。また勝ち上がるたびに応援してくれる仲間とも気持ちを通じ合い、クラス全体の一体感が感じられました。優勝決定の瞬間は全員で喜びを分かち合うことができ、まもなく進学・就職それぞれの進路に分かれる私たちにとって大きな思い出になりました。



針供養

2017年1月18日(水) 西館視聴覚教室

安城学園を代表する大切な行事のひとつ、針供養が今年も厳肅な雰囲気の中で行われました。参列者は主に創作活動の洋裁、和裁の選択者や各クラスの代表者で、折れた針や曲がった針を豆腐に刺して、針への感謝を表し、同時に裁縫の上達を祈りました。そしてその後、2年生のエプロン優秀作品、3年生の洋裁・和裁選択者の作品発表会が行われました。どの作品も素晴らしいもので会場から感嘆の声と大きな拍手が湧き上がりました。

●生徒による感想

「エプロン実習代表に選ばれて」

普通科2年12組

川元 友裕

安城南中学校出身

僕は、裁縫が得意でエプロン制作がとても楽しみでした。エプロン制作では、袖ぐりを切るところを間違えてしまう失敗もありましたが、アイロンがけやしつけを丁寧に行なったため全体的に真っ直ぐに縫うことができ、満足行く作品が出来上がりました。授業中は裁縫が苦手な人や困っている人をお互いに助ける姿があり、クラスで協力しあって実習を行うことができたと思います。エプロン制作を通して、服を作ることの大変さと楽しさを学びました。普段着ている服を大切に、アイロンがけなど授業で習ったことを今後の生活に活かしていきたいです。

「司会を担当して」

普通科2年9組

竹内 茉理亜

三谷中学校出身

私は家庭総合の時間にエプロン制作をしました。私は裁縫が得意でなく、針を指に刺してしまったこともありとても大変でした。しかし、先生や友達のアドバイスを聞いてエプロンを完成させることができました。現在、私は野球部のマネージャーをやっています。その中で、選手の破れた服を縫うことがあります。その際にまち針を曲げてしまったことがありました。今回、針に感謝するという針供養に参加し、司会を担当しました。本当によかったと思っています。私は来年度、洋裁を選択しています。針を使う機会が増えると思うので、今以上に針を大切にしたいです。これからもこの針供養という行事を大切にしていきたいです。



創作活動発表会

2017年1月20日（金）安城市民会館サルビア大ホール／安城学園高等学校内



●書道

普通科3年4組

村松なな

矢作北中学校出身

書道は全くやったことがありませんでしたが、一つ賞をもらうことができ、とても嬉しかったです。自分の書きたい字を自分がいいと思う字体で書くことができ、本当に楽しかったです。字体のことは全く分からず、最初は、本当に自分が納得いくように書けるか不安もありましたが、何回も練習を繰り返していううちに楽しくやっていました。最後のパフォーマンスでは一年間でやってきたことを活かすことができたと思います。

●手芸

普通科3年9組

加藤未来

一色中学校出身

私はものをつくるのが大好きで、手芸を選びましたが、本当に手芸をやれてよかったと思います。今までかわいけれど、難しそうで作れなかったクマのぬいぐるみや、レジン、布で作ったアクセサリ、マスコットなど多くのものに挑戦できました。また今回は、2年生のみなさんと一緒に花のピンを作りました。上手く教えられたかはわかりませんが、何よりも2年生が出来上がった作品を見てうれしそうだったのがとても印象に残り、私自身うれしかったです。不器用な私でも、先生は優しく教えてくれ、多くの友達と話しながらか作品を作れたので、この手芸を選んで本当によかったです。

●美術陶芸

普通科3年7組

磯谷麻衣

猿投中学校出身

私はこの創作活動で人生初の陶芸を体験しました。初めて土に触れて、どんな作品をつくらうかと考えるのが毎回の楽しみでした。手だけを使ってモノを作るのも、電動ろくろを使ってきれいな形の作品を仕上げるのもどちらも楽しかったです。これで週2時間の陶芸の時間は終わってしまいますが、これから先、陶芸をやる機会があれば、是非ともやってみたいと思います。1年間優しく指導して下さった先生に感謝しています。貴重な体験ができてよかったです。

●織り

商業科3年3組

築瀬みずき

竜神中学校出身

私は手先が器用ではないので、最初は自分には織りは向いていないのではないかと考えていました。しかし、色々な作品を作っていくうちに楽しくなっていき、周りの子たちよりもやるが遅れていましたが、マイペースでのんびり楽しくやることができました。色を考えたり模様を考えたり、一つの作品が完成するたびに達成感がありました。一年間楽しく創作活動ができてよい思い出になりました。



●創作ダンス

普通科3年9組

吉川温

高岡中学校出身

今回、創作で創作ダンスを選び活動しましたが、ダンスを一年習っていても難しいところやできないところがあって、とても苦戦しました。先生にダンスの振りを教えてもらっただけでなく、自分たちでも振りを考えましたが、最初はなかなか思いつきませんでした。チームのみんなで案を出し合い、完成したときは感動しました。これからこのような機会があるかはわかりませんが、今日の経験を活かして頑張っていきたいと思います。一年間すごく楽しかったです。

●ピアノ演奏

商業科3年3組

天木璃子

高浜南中学校出身

最初に先輩の発表を見たとき、全員上手で自分も一年後にあんなふう演奏できるか不安しかったです。しかしわからないリズムなどは先生がわかりやすく教えてくださり、友人と切磋琢磨して成長することができたと思います。私は後半部分で上手くできないところがあり、1年間やってきたのに中途半端で終わりたいという思いから、家でも練習を重ね最後までしっかり弾ききれるようにしました。ちゃんと弾けるようになれば楽しいと思えるし、気持ちよく弾けるということを改めて理解することができました。大変な思いをすることもありましたが、限られた時間の中でやりきる力など大切なことを学べました。社会に出るにあたってここで学んだことを活かしていきたいです。

●洋裁

普通科3年3組

杉本愛莉

竜北中学校出身

昨年、先輩の発表を見たときから、自分は白のウェディングドレスを作りたいと考えていました。最初は型紙の書き方もわからず、布に入る前から先は長いぞと感じました。本当にドレスの形にできるのか、また先に進んでいく友達に不安と焦りでいっぱいになりました。しかし、型紙から布へ移り、縫いはじめ、上着が完成し、ついにドレス全体が完成したときは本当に嬉しかったです。洋裁のメンバーの子たちは優しく、わからないところも教えあうことができ、とても助けられました。本番はとても緊張しましたが、一年間頑張って創り上げたドレスを多くの人に見てもらえてよかったです。将来、少し手直しをして使うことができたらいいと思います。

●楽しい手作り絵本

普通科3年4組

原田梨央

碧南中央中学校出身

一年間を振り返って一番に思うのは楽しかったということです。絵本を冊子から作ると聞いて、完成できるか不安になりましたが、先生に毎回丁寧に指導していただけたおかげで、楽しみながら絵本を作ることができました。絵本を一から作ったという思い出もできましたが、私は先生とたくさんお話できたことがとても嬉しいです。毎週金曜日のこの時間が大好きでした。この講座を受けられて本当に良かったです。絵本も折り紙も前よりさらに好きになりました。

響きあうまちと学校

合唱部クリスマスコンサート

2016年12月25日(日) 安城デンパーク・フローラルプレイス

普通科3年2組

竹内桃菜

大府中学校出身

私は今回が最後のクリスマスコンサートでした。3年間ここでクリスマスコンサートを行ってきて、お客さんの力はすごいと実感するばかりでした。チラシを配っているときに「これ見に来たよ!」と言ってくれる方、口ずさんでくれる方、一緒に踊ってくださる方、それを見ているときほど嬉しいときはありません。お客さんがいるから私たちも笑顔で、楽しく歌を届けることができました。デンパークでのコンサートが一番それを感じたのではないかと思います。私たち3年生は、もうすぐ引退となり歌う機会は減ってしまいますが、歌うことの楽しさを胸に刻んでおきたいです。そして、1、2年生にはもっともっと歌うことの楽しさを知ってほしいです。



弦楽部クリスマスコンサート

2016年12月23日(金) 安城デンパーク・フローラルプレイス

普通科3年4組

上田愛美

依佐美中学校出身

私たち弦楽部は、2016年の12月23日に安城デンパークフローラルプレイスで弦楽部クリスマスコンサートを行いました。クリスマス前日だったので、曲は冬らしい華やかな曲や、クリスマスにぴったりのクリスマスソングなど様々な曲を演奏させていただきました。来てくださったお客様は演奏中、とても笑顔で聴いてくださり、中には手拍子をしてくださる方もいました。クリスマスコンサートはただ私たちが演奏し、聴いていただくだけでなく、お客様に楽しんでいただくための演奏会だと思います。たくさんの方が楽しんで聴いてくださっていたのをみて、本当に良かったです。目に見えない音楽の力で今後もたくさんの方々に聴いていただき、弦楽部がどんどん成長できるように頑張っていきたいです。



吹奏楽部碧南親子ふれあいコンサート

2016年12月10日(土) 碧南市文化会館

普通科2年1組

山田凜果

碧南東中学校出身

私たち吹奏楽部は昨年の12月10日に行われた「碧南親子ふれあいコンサート」に今年も招待させていただきました。小学校の頃から憧れていた「安城学園高校吹奏楽部」の一員となり、司会までさせていただくことにプレッシャーを感じながらも、恩師の前で舞台上に立てることに喜びを感じました。会場は満席で立ち見をしてくださるお客様もいる中で、自分たちらしく楽しく安城学園サウンドを響かせることができたと思います。演奏後の会場いっぱいに響いた温かい拍手につつまれ、「今年もここで演奏できてよかったな。」と思いました。この気持ちを忘れず、これからも安城学園吹奏楽部という誇りを持ち、地域に根ざした演奏活動を続けていきたいと思っています。



吹奏楽部桜町小学校クリスマス会

2016年12月11日(日) 安城市立桜町小学校

普通科3年4組

深井咲帆

上郷中学校出身

私たちは、12月11日に桜町小学校で行われたクリスマス会で演奏させていただきました。小学生のみなさんと来年少学校へ入学予定のお子さん、地域の方々が集まり、クリスマス気分が盛り上がっている中、流行りの「前前前世」や「クリスマスメドレー」などの曲を演奏しました。毎年お招きいただき演奏していることもあってか、みなさんおなじみの「男サー」が登場すると、会場が一体となって楽しんでくれていると感じました。私たちは「地域に愛されるバンド」を目指しています。安城学園から徒歩で行くことが出来る桜町小学校で演奏し、たくさんの方から笑顔で「ありがとう。」と言ってくれて、愛されるバンドに近づけたのではないかと感じました。私たち3年生が引退し、新しいバンドになっても、今以上に地域に愛されるバンドになれるように頑張っていって欲しいと思います。



東日本から学ぶプロジェクト 東北ボランティア活動

野球部・男子サッカー部による6度目の東北ボランティア活動

2016年12月26日(月)～29日(木) 宮城県気仙沼市・南三陸町・石巻市

野球部顧問 廣中隆一

今回も2016年12月26日～29日にかけて6度目となる東北でのボランティア活動を男子サッカー部・野球部で行ってきました。例年と違い今回は事前に震災についての学習会を行いました。MC東日本復興支援ボランティア代表でいらっしゃる石川さん(実際に震災後、石巻にある洞源院というお寺で復興支援という形でうどんの炊き出しを行われた方)に安城学園まで来ていただき、当時の様子や炊き出しを行うようになった経緯などを生徒に話していただきました。東北に行く前に少しでも震災というものを考えてほしかったので、非常に良い学習会になったと思います。27日に気仙沼に到着し午前中は畑の整地作業を行いました。6年目にして初めて雨が降り足場がぬかるむ中、生徒は黙々と約3時間の石拾い作業に取り組んでいました。その後、震災当時のままの気仙沼向洋高校を見に行きました。今回行った生徒は初めて訪れた場所でしたが、4階部分まで破壊されている校舎を目の前にいつのまにか言葉を失っていました。夕方、気仙沼大島にフェリーで渡り、毎年お世話になっている明海荘にて宿泊しました。そこで以前にも話をしていた大島小学校の校長先生をしていただいた菊田榮四郎さんに震災当時の話を写真とともに説明して頂いたのですが、亡くなった生徒のことを思い出して涙

ぐまれる場面もありました。生徒自身も午前中の活動で疲労はピークだったように思いますが、全員がその話に聞き入っていました。生徒も感じる部分が多くあったように思います。大島では、ゆず農家の小山ゆきこさんがわざわざ、私たちが宿泊している明海荘にお越しになり、少しでもいいから手伝ってほしいと依頼がありましたが日暮れで活動ができず、翌日も8時のフェリーで戻らなければならない状態でしたが、このつながりは本当に大切にしたいといけないうことで、翌朝5時にゆず農家へ清掃活動をしに行くこととなりました。

28日は早朝の清掃活動のあと南三陸へ移動し、ホテル観洋の伊藤さんのガイドで南三陸町を見て回ったあと1時間、山での作業を行い、午後には石巻の洞源院で石川さんに実際に炊き出しを行ったうどんをいただきました。その後住職の方に震災当時の話、避難所となってからの話をさせて頂いてからお寺の清掃活動を行い、活動を終わりました。

今回は話をさせて頂く機会が多くあり、生徒自身も非常に心を揺さぶられた活動になったように思います。その証拠として講話をして頂いた方から「本当に話をしたいと思うような聞き方をしてくれました」と言って頂きました。それほど今回の活動は生徒自身も考えさせられる部分が多かったように思います。



野球部

2年
渡邊 岳

大府北中学校出身

あえて震災当時のまま残してある建物もありました。震災は大変なことだとい

イメージはしていたけど実際に目の前で見てみるとどう表現したらよいのか分からないほど地震や津波が奪ったものは計り知れないのだと思いました。今日本では東京オリンピックに向けた準備が進んでいる中で、費用が当初の予定であった3千億を軽く上回り、6倍の1兆8千億もかかると聞いたことがあります。僕は詳しいことはよく分かりませんが、本当に考えなければならないのはオリンピックをより良くするための引き上げではなく、東北や熊本に対する底上げが必要だと思います。3千億の競技場の前に3億でも良いので東北や熊本にその資金を回してほしいと本当に思います。僕がこう思うようになったのは2度のボランティア活動のおかげです。もちろんボランティアに行くための費用はかかりますがそれ以上に得られるものが多いのも確かです。ぜひ来年入ってくる1年生にもこの経験をしてもらいたいと思います。

男子サッカー部

3年
石川 輝

安城西中学校出身

大島の元校長先生のお話を聞いて、震災で小学校が死体置場になったり、避難所になったと聞いて自分たちが当たり前のように通っている所が変わり果ててしまうことがあることに驚きました。お寺の住職の話で皆が助け合えないといけないうきに、一人が勝手な行動をすることは大勢に迷惑をかけるか聞いて、自分も部活をやっており、部活でも全くその通りだと思いました。ルールを作り、皆で守ることで集団はうまくいき、チームとしても個人としても成長していくのだと思いました。これからも日々の当たり前のことに感謝して生活していきたい。

3年
兵藤 幹太

明祥中学校出身

3年目の東北は1年目と比べたら、コンビニやショッピングモールなども増えて人々の暮らしやすい街に戻りつつあると感じました。それでもまだ復興していないところもありました。2年目に見た地域は3年目には山から取った土で出来た高台ばかりで初めて来た場所のように思えました。大島の元校長先生のお話を聞きました。当時夢を持っている児童はたくさんいたそうです。しかし、その夢を叶えることも追うこともできず亡くなったと聞きました。自分は夢を叶える可能性も夢を追うことも出来るから、自分から夢を諦めることはやめよう強く思いました。そして、不自由なく生活できていることに感謝しなければいけないと思いました。この東北に行けた経験を無駄にせず生きていきたいと思いました。

3年
長澤 吟遊

依佐美中学校出身

町は、去年とそれほど変わっていないように思いましたが、現地の人が少し元気になっているように見えました。しかし、もともとあった町に住むにはまだまだ時間がかかると感じました。一部、鉄道のあったところにバス専用の道ができたか聞いて、鉄道の復活がない町もあるのかもしれないと思いました。

3年
小林 樹

碧南東中学校出身

今年はゆず農家に行く予定はありましたが、「来てほしい」と言われたことが嬉しかったです。自分たちがちゃんと仕事をやってくれると信用されていると感じて、今までボランティアをしてきてよかったと思いました。



弦楽部 東日本と愛知をつなぐコンサート

2016年12月23日(金)~26日(月)

場所:岩手県大船渡市・宮城県気仙沼市・南三陸町・石巻市

3年
林 夏子

額田中学校出身

2016年12月23日から26日までの4日間、宮城県気仙沼市と岩手県大船渡市に復興支援演奏旅行をしました。弦楽部としては5年目、私自身としては3度目となりました。毎年、大船渡市にあるリアスホールという大きな舞台で演奏させていただくのですが、昨年も一昨年も演奏を聞きに来てくださっている方々の中に、私たちの演奏に涙してくださる方もいらして、改めて音楽の力を実感し、弦楽部に所属してこのような体験ができてよかったと思う瞬間でした。現地では、音楽だけでなく、震災復興列車に乗車し、車窓から復興の現状を見学し、その後、石巻専修大学に行き、前副学長の坂田先生から震災当時の様子や大学の役割などを伺うことができました。ニュースでの報道が少なくなってきた今、被災者の声を直接伺うことができ、今後一人でも多くの人に震災復興の状況を伝えていくことができればと思いました。

今年で6回目の開催

彩雲展

2016年11月23日(水)~27日(日)
安城市文化センター美術展示室

3年生こども教育芸術コース、カリキュラムゼミ日本画及び洋画選択者による「彩雲(あやぐも)展」が11月23日から27日、安城市文化センター美術展示室にて開催されました。



3年

須賀 光姫

朝日丘中学校出身

私は絵の中に物語があると思いながら、いつも絵を描いています。彩雲展の作品でも、不思議な世界観になるように制作しました。木に本を吊っているのか、また葉や花のように生えているのかを考えてみてほしいと思い描きました。一番制作で大変だったのは、絵のための資料を持ってこなかったことで、木や本を上手く描けなかったことです。どんな絵にも、本物をみて特徴を描かないといけないと再確認しました。ポスターに選ばれた時はどうしようかと思いましたが、代表というものに選ばれるのは初めてだったので、自分の絵を恥ずかしくて見せないよりも、誰かに見てもらったほうが嬉しいと気づきました。大学へ行く前に色々な経験ができてよかったです。



3年

高須 美来

吉良中学校出身

私は今回彩雲展に出展し、ポスターに自分の作品が選ばれたことをとてもうれしく思います。絵を描くうえで大変だったことは、鶴の色塗りです。背景を暗い色にしたので、羽や身体の透け感を出すために苦労しました。また麒麟の色使いも考えました。実際には存在しない生物なので、画像を検索し、先生と相談しながら色を決めました。こんなに大きな作品を描いたのは初めてだったため、とても楽しかったです。彩雲展では、やはり絵は素敵だ、好きだと思わせてくれる作品がたくさんありました。一人一人描きたいと思う絵は違い、同じ風景を見ても同じ絵は絶対にできないという美術の素晴らしさを改めて感じました。これからもこの素晴らしさを忘れずにいたいです。





クラブ活動報告

吹奏楽部

吹奏楽部アンサンブルコンテスト全国大会出場決定!

2017年2月12日(日) みよし市文化センターサンアート

●打楽器八重奏の部 東海大会金賞

2年
成富 瑠菜
東浦北部中学校出身



私たち打楽器八重奏は、東海大会に出場させていただきました。初めは曲の理解に苦しみ、なかなか曲の良さを出すことができませんでした。

でしたが、全員でイメージの統一をすることで私たちなりのヨハネ黙示録の天使たちを作り上げることができました。本番で自分たちらしい演奏をした結果、金賞を受賞することができました。ありがとうございました。

●金管八重奏の部 東海大会金賞全国大会出場決定

2年
鬼頭 泉
東京日本橋中学校出身



私たち金管八重奏は、愛知県代表として東海大会に出場させていただきました。私たちの演奏する曲は、作曲者が実際にウィーンに

訪れた際に感じた情景を曲にしたものです。美しいウィーンの街をイメージして、自分たちの全力を出しきった結果、金賞を受賞、東海代表にも選ばれました。3月の全国大会も頑張りますので応援よろしくお願いします。

女子サッカー部

高校選手権 第25回東海大会初出場!

2016年11月6日(日) 静岡県磐田市ゆめりあサッカー場



2年
榎本 梨乃
西尾中学校出身

私たちは秋に行われた女子サッカー選手権大会で準優勝し、創部初となる東海大会へ出場しました。昨年の選手権県予選では、あと一步のところで東海大会を逃してしまい、悔しい思いをしました。そこから一年間、部員総勢21人でお互いに声を掛け合い、励まし合い、練習に全力で取り組み続けました。県準決勝では昨年破れた相手とのリベンジマッチでした。雪辱を果たすことができ、悲願の東海大会出場を達成した時は本当に嬉しかったです。東海大会では惜しくも一回戦敗退(三重県代表三重高校)になってしまいましたが、自分達より高いレベルのサッカーに刺激を受け、学べたことがたくさんありました。まずは夏のインターハイで東海大会に出場できるよう、今回の反省点や改善点を見つけ、練習に全力で取り組んでいきます。応援してくださった方々、ありがとうございました。これからも女子サッカー部をよろしくお願いします。

陸上競技部

第49回安城シティマラソン

2016年12月11日(日) 安城市総合運動公園陸上競技場

【女子3kmの部】

1位 宇野佑紀 2年(常磐) 2位 小笠原安香音 1年(鶴城)
3位 長野紗来 1年(桜井) 4位 下原 渚 2年(朝日)
5位 杉本美侑 2年(矢作) 6位 鈴木梨花子 2年(上郷)
7位 早川有羽 1年(上郷) 8位 福井小夏 1年(逢妻)

【男子10kmの部】

6位 杉村優生 1年(安城西) 7位 山本悠斗 3年(矢作)



2年
山本 佑香
矢作中学校出身

安城シティマラソンでは、表彰台を安城学園の8名が埋め尽くし、マネージャーの私もとても嬉しい日となりました。マネージャーである私は、選手が賞状を手にするまでの陰での努力を知っています。普段の練習では1人1人設定されたタイムで走り切ることを目標にし、私はタイムを呼び選手に伝え応援し、仲間の1人がペースが落ちてきたことを感じた時には、周りにいる仲間が声をかけたり、背中を押しながら走ったりしてチームみんなで支え合って頑張っています。選手の努力を知っているからこそ良い結果が出るとマネージャーの私もとても嬉しいです。同じ学校のチームメイトと言っても試合ではライバル。それでも練習ではともに助け合う仲間というところが陸上の素敵なおとこだと思います。これからも選手が自己ベストを更新し良い結果が出せるよう私もチームの一員として支えていきます。

愛知万博メモリアル「愛知駅伝」

第11回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

2016年12月3日(土)

蒲郡市代表3年
上村 愛子
蒲郡中学校出身

私は蒲郡市代表で愛知駅伝に出ることが夢でした。中学から長距離を始めましたが中学校に陸上部はなく弓道部に所属していました。高校では真剣に長距離を練習したいと安城学園高校陸上部に入部し、尊敬できる先輩方、信頼できる同期や後輩、マネージャーに恵まれ、良い環境で練習できたことで大きく成長できました。何より米津先生を信じて毎日苦しい練習を乗り越えてきたからこそ高校3年生で蒲郡代表となり、地元の声援や仲間からの応援を受けて期待に応えたいと、プレッシャーを感じるよりも張り切って楽しく走ることができました。安城学園陸上部で夢を実現でき本当に良かったです。最高の3年間を送ることができました。これからも地元へ恩返しするために陸上に携わっていきます。



刈谷市代表2年
下原 渚
朝日中学校出身

愛知駅伝では刈谷市代表として8区を走らせていただきました。もてる力をすべて出し、楽しく走ることができました。私の中学の3000mのタイムは12分02秒でした。高校入学当初は練習のアップで辛そうな表情を見せてしまうような私でしたが、今では10分24秒で走れるようになりました。記録を伸ばし成長できたのはご指導いただいた先生方やマネージャー、安城学園陸上競技部という環境のおかげです。練習は決して楽なものではありませんが、地域の方にも応援していただけるようにもっと頑張ります。そして、中学の時にはできなかった恩返しを支えてくださった方々に必ずします。



大会・試合結果 2016年11月～2017年2月

◇男子バスケットボール部

- ・平成28年度東海高等学校新人体育大会(2/11・12)ベスト8
- ・平成28年度西三河地区新人体育大会(1/14・15・21)優勝
- ・平成28年度愛知県高等学校新人体育大会(1/28・29・2/4)準優勝
- ・ウインターカップ愛知県予選(10/29～11/5)第3位

◇女子バスケットボール部

- ・平成28年度東海高等学校新人体育大会(2/11・12)ベスト8
- ・ウインターカップ愛知県予選(10/29・30 11/5・6)準優勝
- ・平成28年度西三河地区新人体育大会(1/14・15・21)優勝
- ・平成28年度愛知県高等学校新人体育大会(1/28・29・2/4)準優勝

◇卓球部

- ・平成28年度愛知県高等学校新人体育大会(11/19・23)5位
- ・平成28年度東海高等学校新人体育大会(12/23・24・25)出場
- ・平成28年度西三河高等学校学年別卓球大会(1/28)

1年女子	調子 楓(一色)	1位	
	野田 美里(蒲郡)	2位	近藤 真帆(一色) 3位
2年女子	石本 若奈(桜井)	3位	

◇陸上部

- ・愛知万博メモリアル第11回愛知県市町村対抗駅伝競走大会(12/3)

蒲郡市代表	3年 上村愛子(蒲郡)
刈谷市代表	2年 下原渚(朝日)
安城市代表	1年 長野紗来(桜井)
- ・第49回安城シティマラソン(12/11)

一般女子3km	
2年 宇野佑紀(常磐)	1年 小笠原安香音(鶴城)2位
1年 長野紗来(桜井)3位	2年 下原渚(朝日)4位
2年 杉本美侑(矢作)5位	2年 鈴木梨花子(上郷)6位
1年 早川有羽(上郷)7位	1年 福井小夏(逢妻)8位
一般男子10km	
1年 杉村優生(安城西)6位	3年 山本悠斗(矢作)7位
- ・にしお駅伝フェスティバル(12/18)

一般女子1位	
1区 3年 塚本茜(平坂)	2区 2年 宇野佑紀(常磐)
3区 1年 小笠原安香音(鶴城)	4区 2年 鈴木梨花子(上郷)
5区 3年 上村愛子(蒲郡)	
一般女子2位	
1区 2年 下原渚(朝日)	2区 2年 杉本美侑(矢作)
3区 1年 長野紗来(桜井)	4区 1年 早川有羽(上郷)
5区 2年 長坂夏歩(翔南)	
一般男子5位	
1区2年大塚翼(安城北)	2区 1年 佐野実来(翔南)
3区2年富樫音緒(依佐美)	4区 1年 鈴木靖也(桜井)
5区1年杉村優生(安城西)	
- ・全三河駅伝(1/8)

一般女子2位	
1区 1年 小笠原安香音(鶴城)	2区 2年 下原渚(朝日)
3区 2年 鈴木梨花子(上郷)	4区 1年 早川有羽(上郷)
5区 1年 長野紗来(桜井)	
- ・第52回一色マラソン大会(1/22)

一般女子(5km)	
1位 1年 小笠原安香音(鶴城)	2位 2年 宇野佑紀(常磐)
3位 1年 長野紗来(桜井)	4位 2年 下原渚(朝日)
5位 1年 福井小夏(逢妻)	6位 2年 杉本美侑(矢作)
高校男子(5km)	
3位 1年 杉村優生(安城西)	4位 2年 大塚翼(安城北)
- ・日本ジュニア室内陸上競技大会(2/4・5)

3年 杉本康拓(鶴城)	走高跳6位
2年 古橋佳奈(桜田)	60mH6位
2年 江頭亜美(大高)	60m
2年 宇野佑紀(常磐)	1500m6位
1年 小笠原早矢楓(鶴城)	走高跳7位

◇バドミントン部

- ・愛知県高等学校学年別バドミントン大会(県大会)(1/7・8・9)

1年女子シングルス	
ベスト8	棚瀬茉亜奈(大府)
1年女子ダブルス	
ベスト16	加藤真奈美(大府北)・棚瀬茉亜奈(大府)
	竹内佳恋(六ツ美北)・福岡沙彩(矢作北)
2年女子シングルス	
ベスト16	佐久間璃子(大府北)
2年女子ダブルス	
ベスト16	藤網玲奈(東山)・大城憂奈(矢作)
	佐久間璃子(大府北)・小田朱莉(大府)

◇女子バレー部

- ・平成28年度西三河高等学校バレーボール選手権大会(12/17・18)3位
- ・平成28年度愛知県高等学校新人体育大会 西三河支部大会(1/15・22)3位
- ・平成28年度愛知県高等学校新人体育大会 県大会(1/28・29)ベスト8
- ・平成28年度第22回東海私立高等学校男女バレーボール選手権大会(2/18・19)

◇ハンドボール部

- ・全三河高等学校ハンドボール大会 一年生大会(2/11・12)第3位
- ・愛知県高等学校新人体育大会西三河予選(11/5・12・13)優勝
- ・第55回三河東西対抗総合室内ハンドボール大会(12/23)準優勝
- ・愛知県高等学校新人体育大会県大会(1/7)出場

◇野球部

- ・東北ボランティア 宮城県気仙沼市・南三陸町・石巻市(12/26～29)

◇男子サッカー部

- ・東北ボランティア 宮城県気仙沼市・南三陸町・石巻市(12/26～29)
- ・新人戦西三河予選(1/7・8)出場

◇女子サッカー部

- ・愛知県高校リーグ1部(6～12月) 準優勝
- ・優秀選手賞 榎本梨乃(西尾)
- ・愛知県高等学校新人体育大会(1/7～2/11)3位
- ・第5回AIFAアウォーズ2016 年間優秀選手 都築麗緒奈(乙川)

◇アーチェリー部

- ・愛知県新人体育大会(11/3)

男子4位	2年 海野直幸(安城北)高等学校全国選抜大会(3月)へ出場確定
女子3位	2年 手島夏奈(豊南) 高等学校全国選抜大会(3月)へ出場確定

◇吹奏楽部

- ・第29回全日本マーチングコンテスト 大阪城ホール(11/20)

6年連続全国大会出場[金賞 3年ぶり4回目]

- ・第40回全日本アンサンブルコンテスト 尼崎市(3/18)

金管8重奏が東海代表として出場決定			
・西三河南地区大会(パティオ池鯉鰒1/9) 11団体[金賞] 3団体代表			
・県大会(パティオ池鯉鰒1/29) <table border="0"> <tr> <td>金管8重奏[金賞&代表]</td> <td>打楽器8重奏[金賞&代表]</td> <td>サクソフォン8重奏[金賞]</td> </tr> </table>	金管8重奏[金賞&代表]	打楽器8重奏[金賞&代表]	サクソフォン8重奏[金賞]
金管8重奏[金賞&代表]	打楽器8重奏[金賞&代表]	サクソフォン8重奏[金賞]	
・東海大会(サンアート三好 2/12) <table border="0"> <tr> <td>金管8重奏[金賞&東海代表]</td> <td>打楽器8重奏[金賞]</td> </tr> </table>	金管8重奏[金賞&東海代表]	打楽器8重奏[金賞]	
金管8重奏[金賞&東海代表]	打楽器8重奏[金賞]		
- ・第28回中部日本個人・重奏コンテスト

・西三河南地区大会(2/5) <table border="0"> <tr> <td>クラリネット8重奏[金賞・代表]</td> <td>管打10重奏[金賞・代表]</td> <td>サクソ8重奏[金賞]</td> </tr> <tr> <td>個人オーボエ:間瀬百華(鳴海)</td> <td>[金賞・代表]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フルート・アルトサクソ[金賞]</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	クラリネット8重奏[金賞・代表]	管打10重奏[金賞・代表]	サクソ8重奏[金賞]	個人オーボエ:間瀬百華(鳴海)	[金賞・代表]		フルート・アルトサクソ[金賞]		
クラリネット8重奏[金賞・代表]	管打10重奏[金賞・代表]	サクソ8重奏[金賞]							
個人オーボエ:間瀬百華(鳴海)	[金賞・代表]								
フルート・アルトサクソ[金賞]									

◇合唱部

- ・夢のさな(11/21)
- ・碧南信用金庫クリスマスコンサート(12/23)
- ・安城デンパーククリスマスコンサート(12/25)
- ・第23回愛知県ヴォーカルアンサンブルコンテスト(1/9)銅賞 奨励賞
- ・第12回定期演奏会 安城市文化センター(2/12)

◇弦楽部

- ・夢のさな(11/21)
- ・安城・岡崎地域交流コンサート(12/18)
- ・安城デンパーククリスマスコンサート(12/23)
- ・東北復興支援コンサート(12/23～26)
- ・第22回定期演奏会 安城市文化センター(2/11)

◇書道部

- ・高文連 東西三河地区書道展(12/13～18)出品

◇美術部

- ・第31回高文連美術・工芸専門部西三河支部展(1/22～27)出品

◇演劇部

- ・第35回市民演劇祭(2/4)参加

◇箏曲部

- ・愛知県高等学校文化連盟 日本音楽部門 第31回発表会(箏曲・能楽 県大会)「砧」演奏 奨励賞 名古屋市青少年文化センター(1/14)

◇スポーツクライミング

- 1年 倉 菜々子(刈谷南)
- ・第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会(12/24・25)

女子準決勝全国11位(愛知県1位)

- ・第12回ボルダリングジャパンカップ(1/28・29)

グループ21位 総合成績41位(全国)

Topics1

日本ジュニア室内陸上競技大会

2017年 2月4日(土)～5日(日) 大阪(大阪城ホール)

2年 江頭 亜美 大高中学校出身 60mH



大阪で行われた日本室内陸上は個人で3度目の全国大会になります。今大会を含め私はまだ、全国の舞台で結果を残すことができていません。競技面の不足はもちろん、精神面での課題も見つかりました。まだ成長していかなければいけないところがたくさんあります。もう全国に出場することが目標では

ありません。4月になれば高校ラストシーズンが始まりインターハイ予選が迫ってきます。これまで経験させていただいたことに感謝し、活かし、インターハイという高校最高峰で活躍できるよう心身ともに成長していきます。今後も安城学園陸上競技部の応援をよろしくお願いいたします。

<出場者> 3年杉本康拓(鶴城)走高跳6位

2年古橋佳奈(桜田)60mH6位 2年江頭亜美(大高)60mH

2年宇野佑紀(常磐)1500m6位 1年小笠原早矢(鶴城)走高跳7位

Topics2

第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

2016年12月24日(土)・25日(日)
埼玉県加須市民体育館

1年 倉 菜々子 刈谷南中学校出身

2016年12月24、25日に全国高等学校選抜クライミング大会に出場しました。女子は34都道府県から60校、83名が参加しました。種目は登れた高さを競うリード競技で、予選は高さ13Mの壁に作られた2種類の課題を登ります。初めての高校生大会なので、楽しく登り、自分の力を出し切ろうと思い挑みました。結果は1本目が8位、2本目が15位で準決勝に進むことができました。準決勝は26人で1本勝負です。下部で一度手が外れて落ちそうになりましたが、こらえて進むことが出来ました。結果は11位(愛知県1位)で決勝進出の8位との差はあと少しでした。次に向けて自分に足りないものを意識し強化していけるよう頑張ります。たくさんの応援ありがとうございました。



Topics3

第29次創作ミュージカル「STATION～光の中へ～」

2月16日(木)卒業フェスティバル公演

4月15日(土)一般講演 安城市民会館サルビアホール

2年 渡橋 藍 竜北中学校出身

第29次創作ミュージカル実行委員は、キャスト19名、スタッフ37名、総勢56名で活動しています。そして今年も恒例の書き割り作業を1月28日、29日の2日間で行いました。立体的に描くものが多かったために大変でしたが、多くの方のご協力のもと、無事に完成させることができました。協力してくださった方々、本当にありがとうございました。4月15日(土)に安城市民会館で行う新入生歓迎会、一般講演に向けてこれからもミュージカル実行委員会で頑張っていきます。私たちが1から全部作った第29次創作ミュージカル「STATION～光の中へ～」をぜひ見に来てください。



Topics4

女子サッカー部「AIFA優秀選手に選ばれて」

表彰式 2017年2月12日(日)

2年 都築 麗緒奈 乙川中学校出身

毎年、県内のサッカーシーンをリードした選手に贈られるAIFAアウォーズ(愛知県優秀選手表彰式)。2016年度は本校2年の都築さんが高校女子の部で年間優秀選手に選出、表彰されました。これで本校からの選出は4年連続になります(13年神谷歩美、14年二村佳奈、15年福井しおり)。昨年度1年生ながら得点王を獲得した県高校リーグ1部では今年度得点ランキング5位に終わったものの、高校選手権県大会では決勝進出したチームを主力の一人として牽引。創部以来の念願だった東海大会初出場を果たしました。また東海大会でも苦しい試合展開の中、見事なミドルシュートを決めるなど、その実力は東海レベルで一目置かれる存在にまで成長しました。「この賞をいただけるのは本当に光栄です。しかし決して私一人でとったわけではなく先輩や後輩とも力を合わせて苦しい試合でも一つずつ勝ち進むことを目指した結果がこの表彰につながったと思っています」。他を圧倒するスピードとパワフルなプレースタイルで今後も一層の成長と活躍を期待したいと思います。



Topics5

ダンス部自主公演

2016年12月23日(金)
刈谷市総合文化センター小ホール



2年 新保 七星 安城北中学校出身

2016年12月23日、安城学園高校ダンス部として2回目となる自主公演を開きました。この日で3年生の先輩は引退されました。たくさんの方々に来ていただき、本番は大成功に終わりました。先輩方が踊っている姿は、誰よりもかっこよく、数え切れないほどの感動をもらいました。憧れの先輩と踊れたことや教えていただいたこと、そして私たちに残してくださったものをこれからも忘れずに部活動に取り組みたいです。そして自主公演を通して、改めてダンスの楽しさや踊れることの幸せを感じることができました。この自主公演をやらせてくださった方々、支えてくれた皆さま、本当にありがとうございました。最後に今まで私たちをダンス部として面倒みてくださった先輩方、本当にありがとうございました。